

# RV315W VPNルータのログ設定

## 目的

ログは、システムイベントを説明する一連のメッセージです。システムイベントごとに重大度レベルが異なります。ログは、RAM、デバイスのフラッシュメモリ、リモートログサーバ、USB、または電子メールアドレスにローカルに保存できます。ログは、機能が正常に動作していない場合に管理者にアラートを通知します。これにより、管理者はログを修正するためのアクションを実行できます。この記事では、RV315W VPNルータでのログ設定の設定方法について説明します。

次の記事では、RV315Wのシステムロギングに関する詳細について説明します。

- ・ RV315Wでローカルにログを表示するには、「[RV315W VPNルータのログを表示する](#)」の記事を参照してください。
- ・ RV315Wで生成されるログを設定するには、[RV315W VPNルータのログ機能を参照](#)してください。
- ・ ファイアウォールイベントのログを設定するには、「[RV315W VPNルータのファイアウォールログ](#)」の記事を参照してください。

## 該当するデバイス

- ・ RV315W

## [Software Version]

- ・1.01.03

## ログ設定

ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[System Management] > [Log] > [Log Settings]を選択します。[ログ設定]ページが開きます。

<b>Local</b>	
Log Buffer Size:	200 KB (Range: 128 - 2048)
<b>USB</b>	
File Name:	logfilev315w
Log Size:	100 MB (Range: 1 - 512)
<b>Syslog Server</b>	
IP Address:	192.168.15.2
Port:	381 (Range: 1 - 65535)
<b>Email Notification</b>	
Sender:	sender@example.com
Receiver:	receiver@example.com
SMTP Server:	192.168.1.25
SMTP Port:	25
Mail Subject:	logrv315w
Number of Logs:	25 (Range: 10 - 200)
Interval:	60 Minutes (Range: 1 - 1440)
Username:	userSMTP
Password:	•••••
<input type="button" value="Save"/> <input type="button" value="Cancel"/>	

## Local

Local Log領域は、RV315Wにローカルに保存されるログのバッファのサイズを定義するために使用されます。

<b>Local</b>	
Log Buffer Size:	200 KB (Range: 128 - 2048)

ステップ1: ログのローカルバッファのサイズ(KiloBytes)を[Log Buffer Size]フィールドに入力します。バッファサイズによって、RV315Wでローカルに保存できるログの数が決まります。

ステップ2:[Save]をクリックします。

## USB

USBログ領域は、外部ストレージデバイスにログを保存するために使用されます。

<b>USB</b>	
File Name:	logfilev315w
Log Size:	100 MB (Range: 1 - 512)

ステップ1:[File Name]フィールドにファイルログの名前を入力します。

ステップ2:[Log Size]フィールドに、ファイルのシステムログの最大量を入力します。

ステップ3:[Save]をクリックします。

## Syslog サーバー

syslogサーバは、メッセージを生成するソフトウェアを、メッセージを格納および分析するシステムから分離できます。これにより、RV315Wのリソースが節約されます。

Syslog Server	
IP Address:	<input type="text" value="192.168.15.2"/>
Port:	<input type="text" value="381"/> (Range: 1 - 65535)

ステップ1:[IP Address]フィールドにsyslogサーバのIPアドレスを入力します。

ステップ2:[Port]フィールドに、syslogサーバとの接続に使用するポートを入力します。

ステップ3:[Save]をクリックします。

## 電子メール通知

[Email Notification]セクションは、管理者がログを分析できる電子メールにログを送信するために使用します。

Email Notification	
Sender:	<input type="text" value="sender@example.com"/>
Receiver:	<input type="text" value="receiver@example.com"/>
SMTP Server:	<input type="text" value="192.168.1.25"/>
SMTP Port:	<input type="text" value="25"/>
Mail Subject:	<input type="text" value="logrv315w"/>
Number of Logs:	<input type="text" value="25"/> (Range: 10 - 200)
Interval:	<input type="text" value="60"/> Minutes (Range: 1 - 1440)
Username:	<input type="text" value="userSMTP"/>
Password:	<input type="password" value="•••••"/>

ステップ1：ログの送信者の電子メールを[Server]フィールドに入力します。

ステップ2:[Receiver]フィールドにログの受信者の電子メールを入力します。

ステップ3:[SMTP Server]フィールドにSMTPサーバのIPアドレスを入力します。Simple Mail Transfer Protocol(SMTP)サーバは、ホストデバイスが送信するメールの保存、制御、リダイレクトに使用されます。

ステップ4:SMTPサーバが使用するポート番号を[SMTP Port]フィールドに入力します。

ステップ5:[Mail Subject]フィールドに、メールの送信時に表示される電子メールの件名を入力します。

ステップ6:[Number of Logs]フィールドに、電子メールに含まれるログの数を入力します。

ステップ7:[Interval]フィールドに、ログの送信頻度を入力します。この時間は数分で与えられます。

ステップ8:[Username]フィールドに、SMTPサーバへのアクセスに使用するユーザ名を入力します。

ステップ9:[Password]フィールドに、SMTPサーバへのアクセスを認証するために使用するパスワードを入力します。

ステップ10:[Save]をクリックします。